

令和6年3月4日

令和5年度 校内研修のまとめ

研修担当

1 研究主題 主体的に学習に取り組む態度の育成とその評価

2 研究の目的

新学習指導要領全面実施に伴い、主体的に学習に取り組む態度の育成がより重要となった。大森第八中学校では、主体的に学習に取り組む態度を育成することで、学習の知識やその活用、また思考力や表現力が伸びると考え、本研究主題を設定し、協働体制で研究を進めることとした。また、その評価について研究を深めることで、生徒の振り返りだけでなく、教員の授業の振り返りができると考え、評価が今後の指導に活きるため、上記の主題で研修を深めることとした。

3 研究の内容

4月	生徒共通理解	生徒の情報を確認し、指導に役立てる
5月	校内授業観察週間	他教科の授業を観察することで、指導に役立てる
6月	講演会（評価・評定）	評価・評定について理解を深める
7月		
8月		
9月	校内授業観察週間	他教科の授業を観察することで、指導に役立てる

4 研究の成果と課題

(1) 成果

校内授業観察週間を通して、お互いの授業について観察し合うことで、主体的な学習を促すためにどのように工夫しているかを考えることができた。また、主体的な学習に取り組む態度の評価についての講演や授業の協議を通して、どのように評価材料を集めどのように評価することが生徒の学習により良い効果を与えるか、研究を深めることができた。

(2) 課題

来年度は主体的な学習を促すことでどのように思考力・判断力・表現力を養うことができるのか研究を深める必要がある。また、教員だけでなく、生徒のICT利用が知識やその活用によどのような効果があるのかさらに研究を深めることが求められる。授業規律を守りながら、生徒同士の深い学びができるように来年度は研究をしていきたい。